

座間市のシティプロモーション
～みんなのガイドライン～



目次

◆座間市のシティプロモーション～みんなのガイドライン～とは？	- 1 -
◆座間市のシティプロモーションとは？	2
◆なぜシティプロモーションが必要なの？	3
◆シティプロモーションの担い手とは？	4
◆座間市の魅力について考える	5
◆座間市のシティプロモーションのテーマ	6
◆何を目標にすればいいの？	7
◆具体的にどんなことをすればいいの？	8
◆最後に	10

◆座間市のシティプロモーション～みんなのガイドライン～とは？

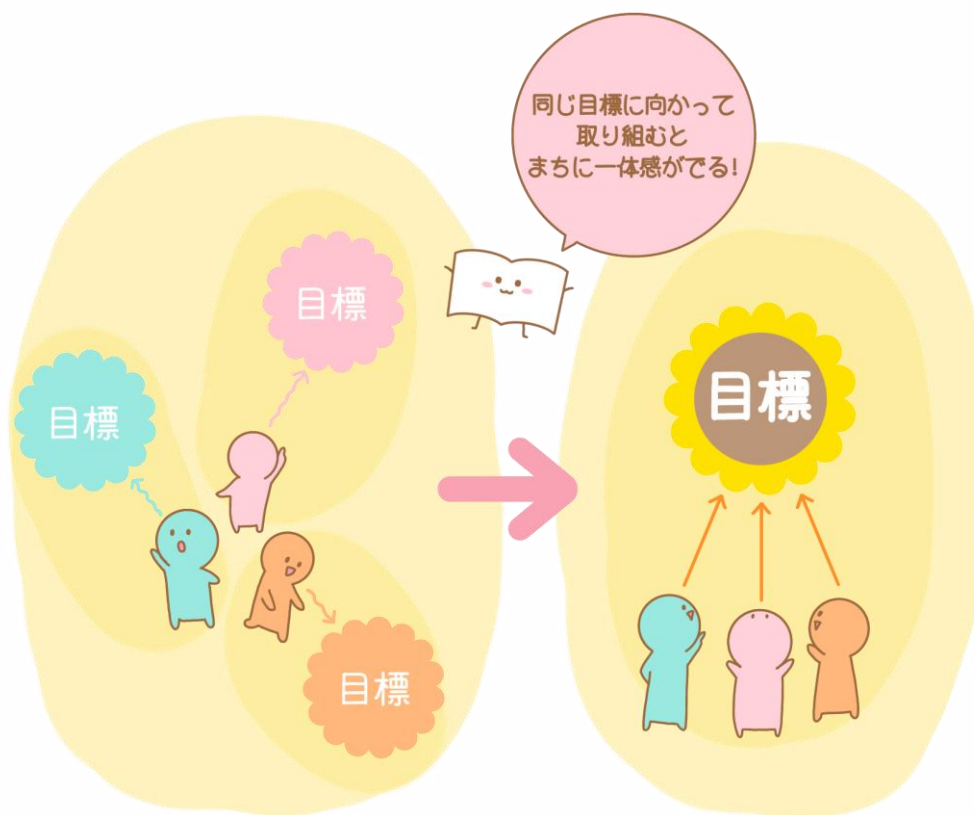
皆さんは、「シティプロモーション」という言葉を聞いて何を思い浮かべますか。「シティプロモーションに力を入れている自治体」と聞くと、美味しそうな食べ物を宣伝している、きれいな風景を雑誌に掲載しているなどの自治体が思い浮かぶのではないのでしょうか。

座間市でもシティプロモーションを推進できるよう、様々な事業に取り組んでいますが、これからは、市民、団体、企業などの皆さんと一緒にシティプロモーションに取り組み、座間市をより魅力に溢れたまちにしたいと考えています。

しかしながら、どのような目標を持ち、具体的にどのような取組をしていけばいいのかわからない方もいらっしゃると思います。そもそも、「シティプロモーション」という言葉に聞き慣れていない方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

そこで、同じイメージを持ち、同じ目標に向かってシティプロモーションに取り組めるように、この「座間市のシティプロモーション～みんなのガイドライン～」を策定しました。

このガイドラインを参考に、皆さんが感じる座間市の魅力を、自信を持って市内外へ発信していきましょう。



◆座間市のシティプロモーションとは？

「シティプロモーション」という言葉は、地域の魅力を発信しイメージを高め、地域経済の活性化に繋げる活動など、自治体によって、解釈や目指す目標が様々に定義されています。※

「座間市のシティプロモーション」とは、座間市に住む人、関わる人に座間市を「ふるさと(=郷土)」と感じ、郷土愛を持ってもらい、自ら地域のために行動してもらうことによって、市全体の魅力を高め、活気あるまちづくりにつながる一連の流れのことです。

ここで言う「郷土」とは、生まれ育ったところだけではなく、例えば、両親や祖父母の出身地、学生時代を過ごした場所、仕事で赴任した場所、旅行で訪れた場所など、何かのきっかけで愛着を感じた場所又は何らかの形で関わった場所のことです。そして、郷土の価値を再認識すること、愛する心が、郷土愛となります。さらに、郷土に関わっていくことにより、郷土愛が強くなります。

まずは、座間市に愛着や誇りを持つ人を増やすために、まちの魅力を発信することが、「座間市のシティプロモーション」の第一歩です。



※「シティ・プロモーションは地域再生、観光振興、住民協働など様々な概念が含まれています。シティ・プロモーションの捉え方は多々ありますが、その一つは、そこに住む地域住民の愛着度の形成と考えます。その先には、地域の売り込みや自治体名の知名度の向上と捉えることも可能です。」

出典 シティプロモーション自治体等連絡協議会ホームページ

◆なぜシティプロモーションが必要なの？

なぜシティプロモーションが必要なのでしょう。

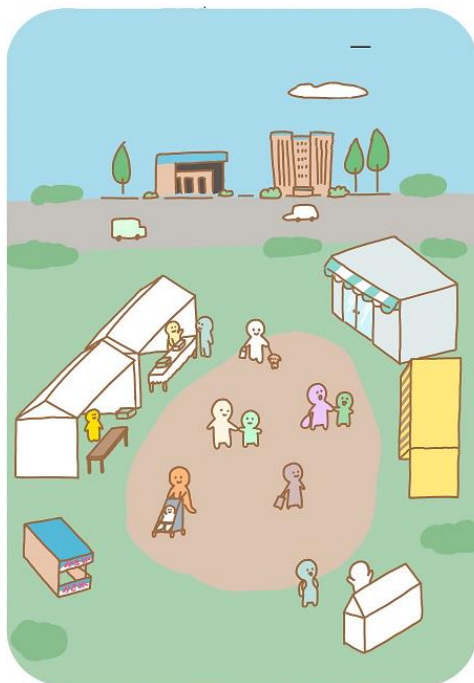
座間市は、昨今の少子化の影響もあり、これまで増加傾向にあった総人口が減少に転じる局面を迎えています。このままでは、地元のイベントの担い手や参加者が減り、これまでの数多くのイベントが開催できなくなるかもしれません。さらには、今まであったお店やサービスもなくなってしまうかもしれません。

一方で、郷土愛を持ち、自らのまちのために行動する人が増えると、例えば地元のための新しい取組に挑戦する人が増え、地元のお祭りやイベントに参加する人も増えるかもしれません。また、ふるさとの危機、すなわち災害などの危機に対しても、被災者支援や復旧・復興に積極的に取り組んでくれる人が増えるかもしれません。あなたが座間市で何か地元のための企画をしたときに、立ち上がってくれる人や賛同してくれる人が増えるかもしれません。

今ある皆さんのまちや生活を守り、より良いものにしていくためには、自らのまちのために行動する人を増やしていく必要があるのです。

【行動する人が増えると、地域に活気が出る！】

行動する人が減ると
地域に活気がなくなるかも…



行動する人が増えて、
地域に活気が出る！



◆シティプロモーションの担い手とは？

先ほど、座間市のシティプロモーションとは、座間市に住む人、関わる人に、座間市を「ふるさと（＝郷土）」と感じ、「郷土愛」を持ってもらい、自ら地域のために行動してもらうことで、まち全体の魅力が高まり、活気あるまちになることとお伝えしました。

それでは、座間市に郷土愛を持ってもらうには、具体的にはどうしたらいいでしょうか。

座間市では、皆さんの「郷土愛」を醸成するための企画や PR 活動を行っています。しかし、郷土愛は、「人から受ける」よりも「自ら発信する」ほうが、より大きく育つものと考えています。例えば、皆さんも、大好きなアーティストの魅力を人から伝えられるよりも、自分からその魅力を人に伝えるときの方が、そのアーティストへの愛が深まっていると感じませんか。

座間市は、皆さん自身がシティプロモーションの担い手になることで、より良い郷土愛を醸成できると考えています。シティプロモーションの担い手とは、座間市のすべての住民や、座間市に通勤・通学している人、団体の構成員など、市の職員も含めた、「市に関係している人全員」なのです。



◆座間市の魅力について考える

それでは、座間市の魅力を考えてみましょう。市民を中心にアンケートを実施した結果、座間市の魅力として、特に「ひまわり」、「自然」、「公園」、「地下水」、「交通・アクセス」、「ざまりん（座間市マスコットキャラクター）」、「商業施設」、「買い物」というキーワードが多く挙げられました。

一方で、座間市外を見てみると、もっと大きなひまわり畑がある自治体や、地下水を座間市と異なる視点で推している自治体もあるでしょう。

確かに、「55万本のひまわり」よりも、「1,000万本のひまわり」のほうが、ひまわり畑の規模が大きいことは分かります。

では、別の自治体の1,000万本のひまわりと比べて、座間市のひまわりの魅力は劣っているのでしょうか。答えは「NO」。皆さんが座間市のひまわり畑を見て「すごい」と感じた感覚は皆さんのものであり、それは絶対的に自慢できる「座間市の魅力」であると考えます。

「座間市の魅力は思い浮かばない」という方も、普段座間市に住んでいて、なんとなく気に入っている部分はあるのではないのでしょうか。ふとした瞬間に見える大山の景色や、地元の人々の温かさ。「他の地域にもあるから魅力ではない」ではなく、「あなたが感じる座間市の好きなどころ」を是非周りの人にもお薦めしていきましょう。

【アンケート結果から挙げられた座間市の魅力】

ひまわり

座間市の花。夏には約55万本のひまわりが咲き誇る「ひまわりまつり」を開催しており、市内外から多くの人々が訪れる。

自然

西部に豊かな田園風景が広がっている。段丘部の斜面樹林のほか、自然が残る公園が多い。

公園

市内に46か所の都市公園がある。多目的広場、子ども広場を含めると、その数は約150か所にものぼる。

地下水

地下水が溜まりやすい地層になっており、水道水の約80%が地下水で賄われている。

交通・アクセス

3つの鉄道が利用でき、都心まで約50分、横浜まで約45分とアクセスが良好。市域は約4キロ四方とコンパクトで、市内の移動も気軽。

ざまりん

座間市マスコットキャラクター。市内での認知度が非常に高く、イベントなどでは常に周囲に人が集まる存在。

商業施設

駅直結の商業施設や、イオンモール座間などの大型ショッピングモールでは多くの人で賑わう。

買い物

食料品店や日用品店が多く生活しやすい。16の商店会やコストコホールセールもあり、買い物スポットが充実。

◆座間市のシティプロモーションのテーマ

冒頭で、同じイメージを持ち、同じ目標に向かってシティプロモーションに取り組むために、このガイドラインを作成したことをお伝えしました。皆さんで同じイメージを持ち、「座間市はこんなまち」とテーマを決めて発信していくことは、まちの一体感を生み、周囲からも「同じ目標を持って頑張っているまち」だと認識されることに繋がります。

そこで、座間市に関わっている多くの皆さんへのアンケートから明らかになった座間市の魅力や特徴、また、皆さんが持つ座間市への想いやイメージを盛り込んだロゴマークとキャッチフレーズを作成しました。

この「やっぱ座間が好き!」という想いをテーマに、一緒に座間市の魅力を発信していきましょう。



【キャッチフレーズに込めた想い】

川や緑の美しい自然。おいしい地下水。

ひまわりや大風のお祭り。生活の利便性が高く、近隣の都市や東京へアクセスしやすい立地。

しあわせの基盤が整う座間の暮らしやすさは、座間に住んでいる人たちがいちばん良く知っています。

そんな「座間が好き!」という不変のプライドを、語感に勢いがある「やっぱ」に込めて発信します。

【ロゴマークに込めた想い】

「座間が好き!」という気持ちを個性的な字体で表現しています。

中央には座間市の花である「ひまわり」のモチーフ。

緑の線は、豊かな「自然」。青い線は、そこから湧き出る「地下水」。

茶色の文字は、座間の「大地」を表しています。

みんなが感じている座間の魅力を組み合わせたデザインで、改めて「好き」を実感してもらえるようなロゴマークを作成しました。

◆何を目標にすればいいの？

それでは、何を目標としてシティプロモーションに取り組めば良いのでしょうか。

もちろん、座間市に関わるすべての人に「座間市っていいな！」「周りの人におすすめしたいな！」と思ってもらうことが最終目標ですが、具体的な数字としては、市のまちづくりの指針となる「第五次座間市総合計画-ざま未来プラン-基本構想」において、「まちづくり指標」として定めています。

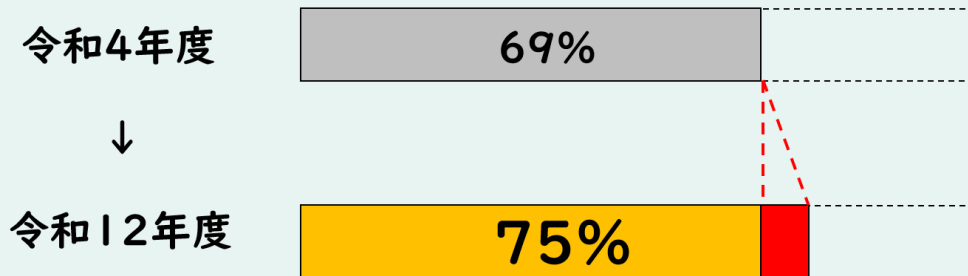
令和4年度に調査した「座間市に愛着や誇りを持っている市民の割合」は69%でした。この数値を令和12年度時点で75%にすることが目標です。

座間市の人口は約13万人ですので、 $(75\%) - (69\%) = (6\%)$ 、すなわち、約7,800人の方に新たに座間市を好きになってもらう計算になります。

たくさんの人に座間市をおすすめしてもらえるように、シティプロモーションに取り組んでいきましょう。

【目標】

「座間市に愛着や誇りを持っている市民の割合」



参考:「第五次座間市総合計画-ざま未来プラン-基本構想」

◆具体的にどんなことをすればいいの？

座間市全域で同じ目標を目指してシティプロモーションに取り組むに当たり、「シティプロモーションのテーマはわかったけど、実際にどんなことをしていけばいいのかわからない」という方もいらっしゃると思います。

そこで、具体的な取組をイメージできるように、6つのポイントを定めました。このポイントをヒントにしながら、座間市をより魅力的な活気あるまちにしていきましょう。

①ロゴマークを積極的に活用しよう

ロゴマークは、一定のルールを守っていただければどなたでも活用することができます。「やっぱ座間が好き!」という想いを伝えるため、ロゴマークを活用していきましょう。

<例えば・・・>

- ・ポスター、チラシ、資料、名刺などに印刷する
- ・お店の入口、車にステッカーを貼る
- ・ホームページに掲載する など



②積極的な情報発信をしよう

情報発信で活用できるツールは、チラシ、ホームページ、X(旧ツイッター)やインスタグラムといったSNSなどたくさんあります。友人や知人に「ひまわりまつりがおすすめだから一緒に行こう」と声をかけることも、情報発信の1つです。ぜひその魅力を積極的に発信していきましょう。

<例えば・・・>

- ・SNSで座間市内のおすすめスポットを定期的に投稿する
- ・座間市内のお気に入りのお店を友人に紹介して一緒に行ってみる
- ・これまで参加したことがなかったイベントに出展者として参加してみる など



③座間市の魅力を盛り込んでみよう

皆さんの生活や活動の一部に、皆さんが感じる座間市の魅力を盛り込んでみましょう。そうすることで、自ずと座間市のPRに繋がります。

<例えば・・・>

- ・家庭でひまわりを育ててみる
- ・イベントの参加賞に、座間市の特産品や推奨品を活用する
- ・作品展のテーマを 座間市の自然 とする など



④座間市の魅力を体験できるような機会を創出しよう

皆さんも、話を聞くだけではなく、実際に体験することで、その人の想いに共感することができると思いませんか。皆さんが感じる座間市の魅力をより多くの人に共感してもらうために、その魅力を体験できる機会を創出してみましょう。

<例えば・・・>

- ・給食やランチメニューで特産品を提供する
- ・座間市産の農作物の収穫体験会を実施する
- ・ざまりんグッズを友人にプレゼントする など

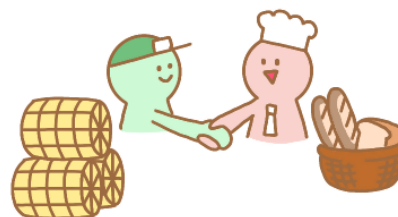


⑤協働で物事に取り組もう

他の人や団体の力を借りることで、自分たちだけでは難しかったことも実現できます。今までの取組にも新鮮さやバリエーションが生まれ、新たな座間市の魅力に繋がります。皆さんの強みを活かし合い、より活気あるまちを目指していきましょう。

<例えば・・・>

- ・これまで取り組んできたイベントを座間市内の公園で開催する
- ・地域の子もたちと一緒に、田植え体験会を実施する
- ・特産品を使用した新たな商品開発に取り組む など

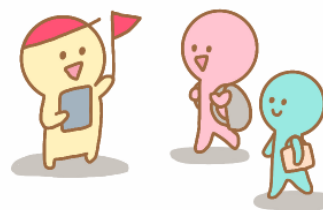


⑥回遊性をもたせてみよう

イベントなどで座間市に来ていただいた方に、少しでも長く座間市に滞在し、たくさんの魅力を感じてほしいと考えます。1つの目的だけでなく、「もっと座間市を楽しみたい」、「また座間市に来てみたい」と思ってもらえるように、回遊性をもたせる工夫をしてみましょう。

<例えば・・・>

- ・座間市内の魅力スポットを巡るツアーを実施する
- ・座間市内の店舗を巡るスタンプカードを作る
- ・異なるイベントを同日に近くで開催する など



座間市では、「シティプロモーション」を推進するツールとして「シティセールス」を位置付けており、このページで〈例えば・・・〉で紹介した行動はシティセールスの一例です。
なお、これらは、ガイドライン作成時のワークショップ等から出たアイデアの一部を紹介しています。



◆最後に

座間市の魅力を創り出しているのは、決して行政だけではありません。普段から座間市に関わってくださっている皆さんがいるからこそ、これまでの座間市の魅力が生み出されています。

休日は自然が溢れる市内の公園で友人や家族と散歩やピクニックをする。このような人が増えれば、ロコミが広がり、座間市外からも訪れる人々が増えるかもしれません。それだけでなく、訪れた人々が、座間市内で買い物を楽しんでから帰るかもしれません。買い物をする人々が増えれば、多くの人々で賑わうことでしょう。

そうやって、皆さんの生活や活動が豊かになればなるほど、座間市が好きな人々が増え、座間市の魅力がより高まり、活気あるまちに繋がります。皆さんと一緒に「やっぱ座間が好き!」を発信し、それを体現していきましょう。



座間市のシティプロモーション
～みんなのガイドライン～

令和6(2024)年4月発行
座間市地域づくり部地域プロモーション課



／やっは／
座間が好き!